

宣言内容	新聞配達などの業務中に異変を見つけた際、速やかに情報共有を行うと共に、連携しやすい体制づくりに努めます
取り組み期間・時期	平成9年7月から実施中（休刊日除く毎日）
取り組みの概要	新聞配達や集金などでサポートが必要な人を見かけたら声をかけて困り事を聞き取る。内容に応じて、市町村窓口や民生委員など、必要な支援先に連絡します。 新聞が数日間溜まっている場合には、安否確認を行います。

<その他の取り組み>

- 読み終わった新聞を活用して作る、新聞バッグ教室の開催を県内各地で普及していきます。ワークショップでは販売所と、読者の皆さんが交流し日頃の困りごとを聞くこともできます。
参加者が集まりやすい人気のあるイベントで、今後は参加しやすい環境整備を進めていきたいと考えています。
- 集金以外の場面でも声掛け活動を行っています。新聞営業時に、読者の方へ次月の紙面予定や、身近な地域の話題をまとめた販売所通信などを手渡しして見守り活動を行っています。